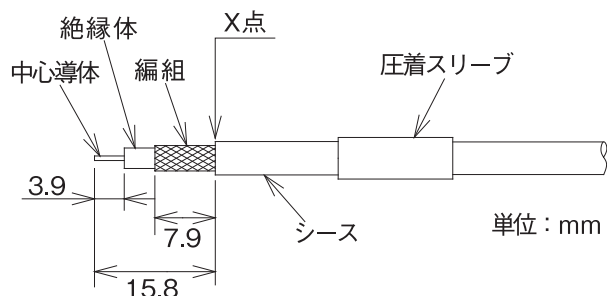


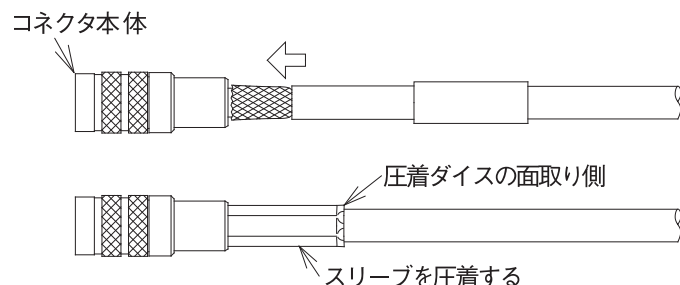
圧着タイプDINコネクタの取付方法

1 TCX-2.8CHDにDINコネクタ（DINP-28CHK）を取付ける加工手順になります。

2 圧着スリーブを先に同軸ケーブルに通し、図の寸法で同軸ケーブルを段カットします。BNCコネクタ加工時と同様に極力編組を崩さないように開き、X点まで必ず完全にアルペットテープを取り除きます。短絡等の原因となる編組屑を完全に取り除いてください。



3 中心導体がまっすぐになっていることを確認し、DINコネクタ本体に挿入します。このとき中心導体がコネクタ本体内部の中心コンタクトに挿入されますので、**挿入の感触があることを確かめながら挿入してください**。また挿入しにくい場合はコネクタ本体を少し回転させると挿入しやすくなります。最後に圧着スリーブをコネクタ本体側に押し当てながら圧着します。（ダイスはCDS-284Gをご使用ください）

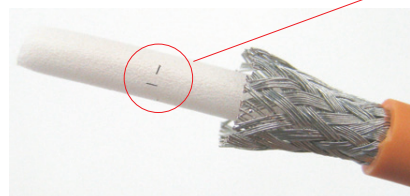


加工のポイント



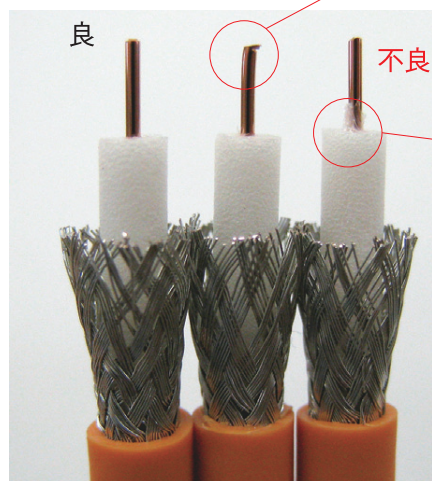
20mm程度のシースを取り除き、編組が崩れないよう丁寧にシース側に編組を開きます。編組の根元（X点）のアルペットテープにカッターなどで全周に切り込みを入れ、テープを取り除きます。

編組屑は完全に取り除くこと



編組を左図の通り7.9mmでカットします。このとき、写真の様な編組屑等はブロアーなどで完全に取り除いてください。

導体の先端が曲がっていたり、綺麗な端面の切り口になっていない場合、接触不良の原因になる為、改めて加工をし直してください。



絶縁の一部が導体に残らないこと

接触不良やリターンロスに影響を与えてしまう重要なポイントとなる為、段カット後の中心導体の根元部分に絶縁の一部が残らないようにしてください。